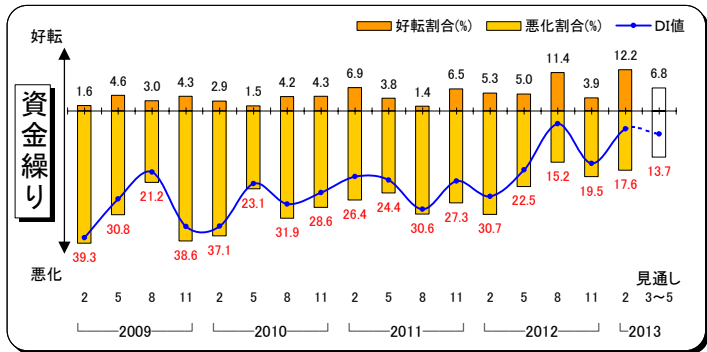
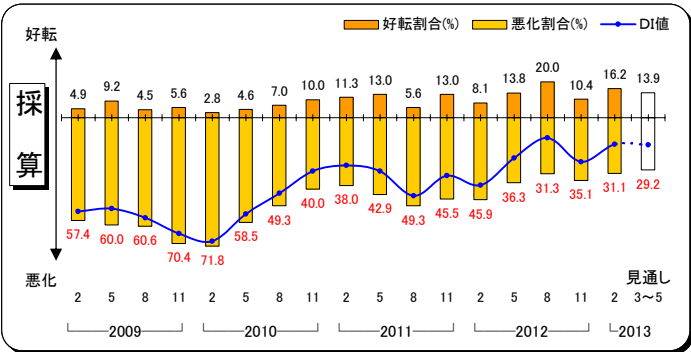
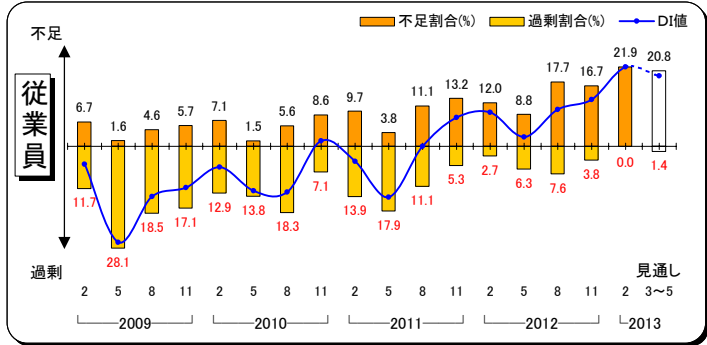
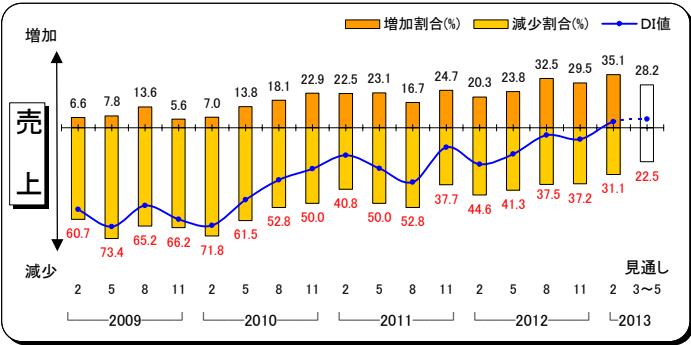
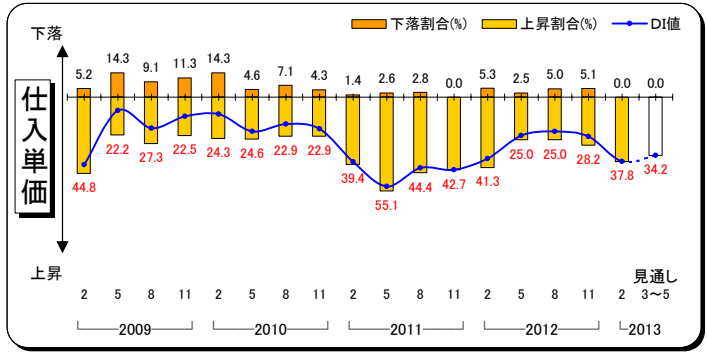
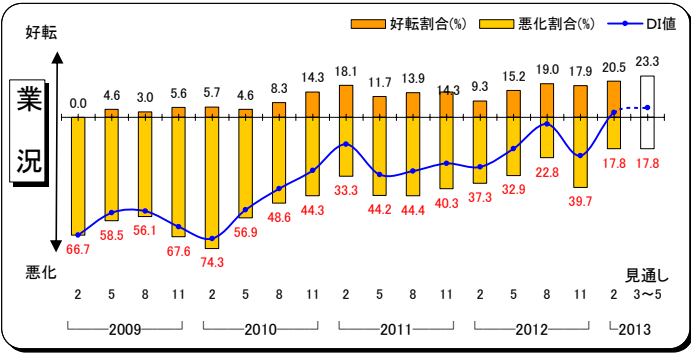


# 【建設業】①



## 【建設業】②

### 企業の声（順不同）

電気工事業	イベントの仕事が徐々に増えてきており、イルミネーション関連の仕事も増えてまいりました。また、展示会の仕事で使用する照明器具をLEDに買い替えるために資金が必要です。
冷暖房設備工事業	新政権には大いに期待しています。政治のリーダーシップは大変重要ですが、行政や民間事業者も一人一人が前向きに努力することが大切だと思います。
土木建築工事業	現政権による景気の浮揚を期待しています。また、土地の安定的な値上がりによる需要の拡大、個人所得の上昇により、住宅購入が増えることを期待しています。
土木建築工事業	原材料価格と労務費単価の実勢価格が設計書に反映されていないことが多く、工事の内容によって、採算が取れるものと取れないものがある。発注者の設計書作成能力が低下している。
管工事業	今後仕入単価が上昇すると予想されることから、採算は良くはならないと思う。ただし、経済の活性化に伴い受注単価の引き上げがあれば、採算は現状のまま推移するだろう。仕事量と資金量がともに増加していくことを希望したい。
内装工事業	元請からの発注段階で契約に時間がかかっており、全体的に期内完成が難しい状態です。また、受注価格が低く、作業員不足も懸念されます。その上、円安により仕入単価が上昇する可能性もあり、心配です。
土木建築工事業	まだまだ仕事が少ない。仕入単価が上がっている。ハウスメーカーが利益を取りすぎている。